



2020年度 相原地区 市政懇談会

次 第

[日時] 2020年11月9日 (月) 18:30~20:00

[場所] 堺市民センター ホール

司会進行： 市民協働推進担当部長 大貫 一夫
相原地区連合町内会 会長代行 寺島 正雄

○ 連合会長の挨拶

相原地区連合町内会 会長 井上 正行

○ 市長の挨拶

町田市市長 石坂 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 歩道の改善について

【道路部】

2 公共交通機関の拡充について

【都市づくり部】

3 相原駅西口ロータリー内タクシー駐車場の一般への開放について

【道路部】

4 災害時に避難施設が収容能力を超えた際の対策について

【防災安全部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

相原地区連合町内会 会長代行 寺島 正雄

2020年度 相原地区 市政懇談会
議事録(要旨)

[日 時] 2020年11月9日(月) 18:30～20:00

[場 所] 堺市民センター ホール

[出席者] 町田市長 石坂 丈一
道路部長 神蔵 重徳
都市づくり部長 萩野 功一
防災安全部防災課長 星野 中
市民部市民協働推進担当部長 大貫 一夫
相原地区連合町内会長 ほか33名
事務局 市民部市民協働推進課 5名
市民部堺市民センター長

司会進行：市民協働推進担当部長
相原地区連合町内会会長代行

- 相原地区連合会長の挨拶
- 市長の挨拶
- 職員の紹介
- 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 歩道の改善について

昨年度も議題として取り上げましたが、町田街道の歩道について狭隘な箇所が多数あり大変危険な状態のまま長年放置されています。福祉のまちづくり総合推進条例に謳っている『車椅子で歩けるまちづくり』の趣旨からも大きく反しております。

本件につきましては、相原地区連合町内会と相原まちづくり協議会が東京都知事宛に要望書を提出しています。

町田市として東京都に対し、実現方を強く要請されるよう要望いたします。

町田街道の拡幅整備を待つまでもなく、部分的な改善を強く求めます。

相原まちづくり協議会

2年前の11月26日、都知事宛に直接要望書を提出しました。その時は副知事にお会いしてお話しました。今、議題で歩道の話が出ていましたが、町田街道は部分によって事業のペースが違います。きらぼし銀行に至るまでは都市

計画決定、さらには事業決定を進めているところだと思いますが、問題なのはそこを含めてその先、西側の部分になります。きらぼし銀行から大戸の三叉路まで道路として都市計画決定すらされていません。そこから先については、都市計画決定されているけれど事業決定していない状況です。

2年前知事宛に話をした際は、町田街道は都の緊急避難道路ですが道路の計画すらないということでは是非計画を進めていただいきたい。ただ、それは東京都の話です。今すぐに狭隘な歩道を直すとなると、都市計画、事業計画とは別に市にお願いをして歩行者の安全を確保してほしいと毎年お願いしています。そういった意味では中長期の話と、短期的な話も含めて是非市にも理解していただき前へ進んでいければと思います。

【回答】

道路部長

(1) 「町田街道の歩道拡幅」についてお答えします。

町田街道の相原交差点から中央橋までの区間については、2016年に策定された東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）において、東京都施行の優先整備路線となっております。優先整備路線は、2025年度までに優先的に整備すべき路線でございます。町田市としましても、事業に早期着手するよう東京都へ要望してまいります。

町田街道の中央橋からきらぼし銀行相原支店までの区間については、2014年度から東京都が事業に着手しており、現在は道路の立体化に支障となる管径400ミリの水道本管の移設工事を実施していると伺っております。町田市としましても、事業が早期完了するよう東京都へ要望するとともに、市が行う相原駅東口アクセス路整備事業との調整も適切に行ってまいります。

町田街道のきらぼし銀行相原支店から大戸交差点までの区間の狭隘な歩道については、再度現地確認を行い、東京都へ改善の要望を行ってまいります。

大戸交差点から八王子市の館町清掃工場入口交差点までの区間については、第四次事業化計画にて優先整備路線の位置付けがないため、着手時期は未定でございます。

《質疑》

相原まちづくり協議会

第4次では計画がないということは承知しておりますが、その次の第5次の計画に入っていないと更に先の話になってしまいます。我々の次の世代のためにも、我々が頑張るって布石を作るという認識を持っております。第5次計画で優先的に行っていただくということに関して、当然我々も声を上げていきますが、町田市で自主的に、あるいは協力的にアクションを起こしていくことは可能なのでしょうか。

道路部長

まだ第5次がいつからスタートするのか、どのような手法で決めていくかというところは定まっておられません。これまでのやり方を見ますと、地元の自治体、市町村と協議をしながら行っていくことが今までのやり方ですので、そこは踏襲されると思います。町田市としてもこの第5次の優先整備路線を決める際には、町田市内にはまだ都市計画道路未整備のところがいっぱいありますので、それらをどれだけ多く入れられるかということが我々の責務だと思っております。今回の大戸交差点から八王子市清掃工場入口までの区間につきましても、八王子と町田市とを繋ぐ重要な路線、町田市内でも重要な路線ということを認識しておりますので、是非検討の中に含めてお話をしていきたいと思えます。

2 公共交通機関の拡充について

八王子医療センターへの公共交通手段がない状況下で高齢者にとっては切実な問題です。

大戸地区から高尾駅へのバス便の新設について要望いたします。

【回答】

都市づくり部長

大戸地区から高尾駅へのバス便につきましては、過去に京王電鉄バス株式会社が運行するバス路線がございましたが、利用者不足により2006年に廃止となっております。

バス事業者の現状についてですが、予てから抱える慢性的な運転士不足の問題に加え、新型コロナウイルス感染症拡大により、バス利用者数も前年度と比べて約7割程度に大きく減少しており、大幅な減収となっている状態です。

その影響で、バス事業者は現状の路線維持に苦慮している状況であり、バスの増便や新規路線の開設への対応は困難と聞いております。

なお、現在、JR横浜線八王子みなみ野駅から、東京医科大学八王子医療センター、永生病院、みなみ野病院を結ぶ無料シャトルバスが運行されておりますので、このシャトルバスをご利用いただくと多少便利かと考えております。

《質疑》なし

3 相原駅西口ロータリー内タクシー駐車場の一般への開放について

相原駅西口ロータリー内にタクシー専用の広いスペースがありますが、殆ど利用されていない状況です。

相原駅に送迎のために朝夕一般車はコンビニ前のタクシー駐車場のそばの狭い道路に駐車せざるを得ない状況で混雑し危険な状態となっています。あんなに広いスペースがあるのに何故利用できないのか疑問が呈されております。

橋上駅舎完成から17年が経過しており、現状を踏まえて南大沢警察署と再調整を図られるよう強く要望いたします。

【回答】

道路部長

「3 相原駅西口ロータリー内タクシー駐車場の一般への開放について」お答えします。

「相原駅西口ロータリーの一般送迎車区画について」ですが、相原駅西口広場の築造にあたっては、交通管理者である警視庁と道路管理者である町田市が協議し、タクシー乗り場及びバス乗降場の位置等を決定いたしました。

タクシー専用の待機スペースについて、タクシー事業者からは「現在も利用しており、必要な待機スペースである」と伺っております。

また、今回のご要望を受けまして、改めて南大沢警察署に申し入れを行いました。南大沢警察署からは、駅前広場内は駐車禁止区域であり、その区域内に一般車両用の区画を設けると、禁止している駐車を誘発することになるため、タクシー専用の待機スペースを一般車両用に開放することはできないと伺っております。

駐車禁止の交通規制はかかっておりませんので、交通ルールを守ってご利用いただきたいと思いますと考えております。

《質疑》なし

4 災害時に避難施設が収容能力を超えた際の対策について

2019年10月12日に関東を直撃した台風19号は、各地で多大な被害をもたらし、坂下地区でがけ崩れが発生するなど記憶に新しいところです。

当日、境川の増水により避難勧告が発令され、洪水ハザードマップ[洪水時集合場所]に指定されている町田市農協堺支店には多くの避難者が集まり、急遽隣接した元橋会館を開放することで何とか対応したと伺っております。温暖化の影響でこのような風水害の増加が今後も想定される中、公的な避難施設、臨時避難施設、洪水時集合場所の能力を超える状況は、今後ますます増えてくると考えられます。その際臨時的対応として準公的な町内会・自治会の会館を活用する事例は現実的な対応策の一つと考えられます。具体的には、その地域の避難施設収容能力に応じ、公的施設を補完する目的で、準公的な施設をあらか

じめハザードマップに明示するというものです。また、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、ソーシャルディスタンスを確保することにより避難施設の収容能力低下が懸念されます。町田市の現状と対策をお示してください。

【回答】

防災安全部防災課長

はじめに町内会・自治会の会館を避難施設として活用し、ハザードマップに掲示してはとのご提案についてお答えします。

まずは、昨年の「令和元年東日本台風」の際には、元橋町会の協力により元橋会館で避難者を受け入れていただきありがとうございます。このときは相原地区以外でも町内会・自治会の会館に避難者を受け入れていただいた事例がありました。

それらを踏まえまして、避難者が身を寄せる場所として町内会・自治会の会館の活用について町田市町内会・自治会連合会にご相談させていただいた経緯がございます。その後、新型コロナウイルス感染防止対策を講じる必要性が生じるなどしたため、町内会・自治会の会館につきましては引き続き避難施設としての活用についてご相談させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。そのうえで、ハザードマップへの掲示については協議させていただければと思っておりますので、重ねてよろしくお願いいたします。

次に、町田市の避難施設の現状と対策についてですが、東京都の浸水予想区域図が改定されたことと「令和元年東日本台風」の経験を踏まえまして、町田市では風水害時避難施設の配置の見直しを行いました。また、新型コロナウイルス感染防止対策として、全ての避難施設において避難者一人当たりのスペースを4平方メートル確保することとしたことから、今まで以上に広い居住スペースといたしました。

《質疑》なし

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

今、新型コロナウイルス感染症が一番大きな話題になっています。

3月、春休みに学校がいきなりお休みになりました。これは全国一斉であったということもあり衝撃がありました。新型コロナウイルスとはそもそも何だかわからないまま学校がお休みになりました。

第一波は6月の頭にほぼ収束いたしました。第二波が7月末から大きくなり、第一波の2倍くらいの感染者になりました。ここから私の推測ですが、第三波

はさらに大きな山が来ると思います。一方で皆様はもう半年以上新型コロナウイルスと付き合いされています。付き合っている中でだんだんとどのようにしていけばいいかわかってはきていますが、根本的にワクチンと治療薬はまだ先の話になります。日本政府の話によると、来年の2021年、令和3年の前半までに開発できるようにと言っていますので、まだ半年くらい先の話になると思います。少なくともあと半年は今の状況と付き合いなければなりません。

町田市が最初に行ったことは、一人10万円の特別定額給付金の支給です。432億円お支払いしました。その後子育て世帯への臨時特別給付金を支給しました。

その後町田市独自に、中小企業の方の家賃補助事業を5月と7月に行いました。国は50%以上減った方が対象ですが、町田市は売上が15%以上減った方を対象にしています。5月に10億円、7月に5億円を支給しました。

それから、4月5月に外来の方が減り赤字になったことから、市内の病院4か所に合計2億円の支援をしました。

皆さんもうご存知かと思いますが、4月はPCR検査をなかなか受けることができませんでした。そこで町田市では4月27日に、地域外来検査センターを開設しました。多摩地域では1番目に都内だと8番目になります。9月までは旭町の体育館の地下駐車場で、先月10月からは森野にある旧医師会館で行っております。

ひとり親のご家庭にも特別給付金を支給しました。これは、国の制度と市の制度になります。

また、介護サービス事業者へは2億8千万円、障がい福祉サービス事業者には1800万円の支援を行いました。

それから、新生児臨時特別定額給付金も支給しました。一人10万円の特別定額給付金は4月28日以降に生まれた子は対象外でしたが、追加で来年の4月1日生まれまで対象となりました。

その他にも感染予防対策を行っております。イベントについては市の主催事業についてかなり中止をしています。ただ来年の1月11日に成人式がありますが、成人式は開催します。開催しますが一度に出席されても大変なので、午前の部と午後の部に分かれております。既に連絡はしていると思います。出身中学校で午前と午後に分けています。私や市議会議長の挨拶はなく、録画したものを当日流します。

新型コロナウイルス感染症の対策はまだまだこれからも行っていきますが、基本は手洗いになります。聞いた話ではありますが、世界的な話になると、世界全人口の4割くらいの方は手を洗う場所がないそうです。つまり、手を洗う水が手に入らない、日常生活で手を洗う場所がなく、日常的に手を洗う習慣がないそうです。

アメリカの死者数が増えていますが、その内の何割かは医療保険の加入をし

ていません。国民皆保険がアメリカにはありません。自分で保険をかけて医者にかかるという制度になっています。掛け金を払えない方が数多くいらっしゃって、医療アクセスができない人がいます。手を洗う習慣がないことも含めて、亡くなった方が多くなった原因かと思っております。

オリンピック・パラリンピックの話です。見込みではコロナ対策をしながらの開催になると思います。この第三波がどこまで続くのかはわかりません。観客の数をフルにするということは難しいと思いますが、観客数を減らして、対策をして開催すると思います。現在プロ野球やJリーグ等で行っている座席数の制限や入場のチェックをするといった対策を行っていくと思います。一昨日海外から体操の選手団が来て代々木で大会を行っています。そこでの国際大会はオリンピックの前哨戦、リハーサルということも兼ねて行っています。聖火リレーやロードレースもそういった対策をしながら行っていくと思います。密集をどのように避けるかということが難しく、今度の箱根駅伝は沿道規制を行うかと思っております。事前キャンプについても対策をしながら行うことを相手国と調整しています。

大戸の踏切については皆さんもご存知のお話ですが、この後どのようにしていくのか、色々なことがあります。こうさぎ保育園をどうするのか、消防の詰所をどうするか色々な問題が出てきます。消防にしろ、保育園にしろ、場合によっては市民センターをどのようにしていくのかは、地域の皆さんで議論をしていただければいいと思いますが、それよりも先ほどお話しましたが、駅前の道路を早く通さないといけないので、それが第一優先課題になります。道が広がれば建築基準の問題も解決しますし、用途規制も新しくできますので、東側の道が広がり、整備され活性化されることを期待しています。

もう一つ今日は議題にはなりませんでしたが、きらぼし銀行から相模原へ行く道をなんとか早く橋を架けて通したいです。今度町田市と相模原市との首長会議がありますので、早く橋を架けてくれという話をしなければなりません。きらぼしのところについては、相模原市が橋を架けることになっていますので、あれが先にできれば踏切が立体になる前でも変わってくると思います。今度の首長会議で相模原市長にお願いをします。

違う話ですが、鶴川駅の南側で区画整理事業が始まります。相原については相模原市とのやり取りになりますが、鶴川では川崎市と道路問題を抱えています。

清掃工場については、来年の今頃に完成します。9月頃から新しいプラントの稼働試験を行い、翌年1月から新しい工場を稼働させていきます。

ソフト事業として、保育園は南地区、町田地区が厳しい状況です。待機児童について、去年は127人でしたが、今年は130人で3人増えました。定員は増やしていますが、申し込み率が上がっているので追いつかないのが実状です。

ICT教育についてです。堺中学校、小山ヶ丘小学校、町田第五小学校の3校がモデル校になっています。堺中学校では一人一台のモバイル端末を配布してモデル事業を行っております。なかなか難しいのは、相原小学校が行っていないので、小山ヶ丘小学校から堺中学校へ入学する生徒と差が出てしまいます。それをどうするのかということで議論を進めています。文部科学省は昨年まで4年間で一人一台のモバイル端末を配布する計画を立て、市でも予算を組んでいました。4月になってからは、4年間ではなく今年1年で全員に支給しますと突然方針が変わりました。13億くらいで全生徒分の端末を買いました。買いましたが、ソフトウェアが整っていないので、どのように授業を行うのか暗中模索しています。モデルである3校で行っていることをどのように活かしていくのか教育委員会で検討しています。今後全校で展開していくため、一番の問題は教員がモバイル端末を使ってどう授業をしていくのかということです。もう一つは、文部科学省は紙の教科書を今後も使い続けると言っています。モバイル端末は今年全員に渡すけど、教科書はあと3年紙のものを使うことになります。デジタルの新しいシステムを作らないうちに端末だけ配ってしまいました。本当はソフト面を準備しながら順次導入していけばよかったです。いきなり配って活用しろと言われても対応できない状況です。実際に、英語、理科を解くことになった場合、来年すぐ対応できるかと言われても対応できません。デジタルの教科書は今文科省が開発しています。令和6年からデジタルの教科書で授業を行う予定です。その時には必要ですが、今どのように使うか難しいところです。

特別養護老人ホームですが、相原地域の皆様には大変ご協力をいただいております。10年前の数字ですが、申し込みから1年以内に入所した方は、2009年は45%でした。昨年は88%でした。施設不足も解消しております。

《質疑》

地区連合会長

今政府の方でもハンコ行政を簡素化しようということをしてしていますが、町田市においても是非行ってほしい。というのも、私は町会長を行っている中で非常に疑問に思うことが多々あります。例えば、私どもの町会では4つの公園を管理して助成金をいただいております。半期に1回報告書を出しますが、その4つの公園、4枚の紙全部に住所、氏名、電話番号を書かなければなりません。1枚の届出用紙で添付すればいいのではないかと。また、自主防災隊の助成金をいただく時に、長が同一なのに、添付資料として自主防災隊長から町会長へ依頼書を出さないといけません。こういうことはやめてもらいたいです。中には違う名前の隊もあり、そういう場合はいいと思います。是非直していただきたいです。また、申請時と請求時のハンコが違うものだから出し直してほしい

と郵送で来ます。明らかにわかっているのだから庁内で是非見直してください。

市長

今月部長会でハンコを極力なくす号令が総務部長からかかりました。今、各部でどこにどういうハンコを押しているのか全て調べています。その目的としては、いらぬハンコもあるのではないかとということで全庁を挙げて調べています。ちなみに、町田市はこういうハンコを使わないということをして20年くらい前から行っていますので、かなり進んでいます。それでもたくさんあるので、見直していきます。

もう一つ、ハンコの話ではなく一種不合理な、または過剰な手続きもあります。これについては、“e-まち”実現プロジェクトがこの春からスタートしています。申請書を全部パソコンもしくはスマホから提出できるようにしようという方針が出ています。これも、既にプロジェクトメンバーが選出されて申請書を紙で出さないようにするプロジェクトを始めています。もちろん法律でハンコがないといけないものもあります。それ以外はなしで、webで提出へと切り替えようとしています。これは、消防関係の申請については、消防署に行き、市役所に行き、場合によっては道路の占有が必要になるので道路に行き、交通処理だと警察に行き、最後に市役所に行くということを行っていましたが、全部オンラインでできるようにしようとして警察、消防署を含めて改善しようとしてプロジェクトをスタートしています。同じように、手数料の支払いをキャッシュレスで行う検討も行っています。

もう一つ進めているのが、例えば介護認定の調査をする際、直接お宅に伺って話を聞いて、庁舎に戻ってきて手続きをしています。そうではなくて、現場で話を伺いながら入力処理をして、直接介護保険課にデータを送付して、次の介護認定審査会の予約を入れられるようにしようとしています。ハンコや申請書だけではなく、全庁的にオンラインで、端末を持って仕事をしていこうという流れになっております。

相原まちづくり協議会

道路の話ですが、先ほど市長からきらぼし銀行から相模原への話がありました。今回議題には上げてなく、昨年出したものです。その時の答弁でも相模原市が主体となる事業のため、今後機会をとらえて協議をしていくという回答でした。先ほどの話の中で相模原市長と協議を行う場があるということなので、是非やりましょうという話だけではなく、具体的な布石を打っていただきたい。先ほど大戸踏切の立体化に絡めて、迂回路としてということでしたが、それは有効かと思えます。道が狭く途中ですれ違えるところがありません。とにかくこれについては相模原市が主体の話で町田市ではどうにもできな

いが、どこかで布石を打たないと何も始まらないので、チャンネルを活かしていただきたい。

今年議題に上がっていないからといって関心が薄れたわけではありません。町田市側の買収はかなり終わっていると聞いておりますので、是非先に進めていっていただきたいと思います。

道路部長

町田市側は用地の買収が概ね完了しておりまして、あとは橋梁に併せて工事を行うだけの状況です。市長が相模原市長と話をすることですので、その前に、露払いではありませんが、担当部局として相模原市と調整を取りながら、会談が実のある形に仕立て上げないといけないとひしひしと感じております。事業がスムーズに実現できるように頑張ってまいりたいと思います。

丸山団地自治会

今道路の話に付随したのですが、確かに不便さは絶大です。相模原市の協同病院が来年1月に移転します。相原からそこへ行く幹線道路になることを相模原市に言っていただきたい。利用したくても今の細い道では危ないです。

それから、大戸踏切の立体交差工事に関しては、あれが先行してできあがっていれば東京都も楽に工事ができると思われるくらいの迂回路です。

また、みなみ野へ抜ける道も相変わらず途絶えています。今向かうには相原十字路から抜けていく道になります。この道ができれば相原町民にといたしましては一番利便性があり行き来ができる道になります。併せて市もしっかりとこれをとらえて進めていただきたいです。

道路部長

まず協同病院の話について、我々も今回の市政懇談会での話を踏まえまして、しっかりと相模原市へと伝えてまいります。地域の方の大切な医療機関へのアクセスという意味も含めまして、お伝えしていきたいと思います。

みなみ野へ抜ける都市計画道路につきましては、この第4次で落ちてしまったという経緯がございます。先ほどお話いたしました大戸から八王子へと抜ける都市計画道路と同様なのですが、次の都市計画道路の優先整備道路を検討する際には、市境を跨ぐ道路、広域的な交通をどう作っていくのか、町田市が閉鎖ではなく周辺の市とどう繋がっていくかということが大切だと思っておりますので、みなみ野へ抜ける都市計画道路につきましても検討していきたいと思っております。

相原まちづくり協議会

防災無線の鉄塔を建てたり、放送をしたりしていますが、これを作るという

基準がどうなっているのか教えてほしいです。実は、私が住んでいる所は谷や丘があり町田市の放送よりも相模原市の放送の方がよく聞こえます。一方町田市の放送はよく聞こえません。実は数年前に市にお話しをしましたら、周辺に住んでいる人たちの許可が必要になるので書面を作成するなどしていただきたいとのことで行動をしました。そうしましたら、ある人が反対して全員の許可が得られなかったので鳴りを潜めてしまいました。しかし、コロナの問題など色々ありますから、町田市の防災放送も身近に聞きたいと思いますので、何か基準があれば教えてください。また、たった一人の人が反対していれば無線が設置されないのか。納得いきませんので教えてください。

防災安全部防災課長

まず、防災行政無線の設置の基準についてですが、1つにスピーカーが4つくらい付いていまして、そのスピーカーからどのくらい音声が届くのか机上で計算をして、どこに設置すればいいのかということを考え市内に設置しています。今おっしゃったように地形や風向きなどで聞こえないというご意見もいただきます。そのような場合は、メール配信やフリーダイヤルで電話をかけていただくと流れた放送を聞くことができるサービスもしております。そのように補完しているところでございます。

○閉会の挨拶

相原地区連合町内会長代行